

平成28年における労働災害発生状況

平成28年9月末現在

北海道労働局労働基準部安全課

業種別労働災害発生状況 その1

平成28年1月1日～平成28年9月30日

北海道労働局

業種別	平成28年			平成27年			対前年		業種割合 (%)	平成27年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	40	4,104	4,144	47	4,147	4,194	-50	-1.2	100.0	65	6,503	6,568
製造業	5	796	801	3	772	775	26	3.4	19.3	7	1,180	1,187
食料品	1	418	419	1	408	409	10	2.4	10.1	2	620	622
木材・家具		77	77		73	73	4	5.5	1.9		106	106
紙・印刷	2	23	25		22	22	3	13.6	0.6		36	36
窯業・土石		26	26		25	25	1	4.0	0.6		40	40
金属・機械	2	129	131	1	128	129	2	1.6	3.2	4	203	207
その他		123	123	1	116	117	6	5.1	3.0	1	175	176
鉱業												
鉱山		1	1				1		0.0			
土石採取業	1	8	9	2	17	19	-10	-52.6	0.2	2	22	24
建設業	16	552	568	21	604	625	-57	-9.1	13.7	25	967	992
土木工事業	6	162	168	6	197	203	-35	-17.2	4.1	8	308	316
建築工事業	4	211	215	4	277	281	-66	-23.5	5.2	5	440	445
木造建築業	2	92	94	4	68	72	22	30.6	2.3	4	114	118
その他	4	87	91	7	62	69	22	31.9	2.2	8	105	113
交通運輸事業		163	163	3	153	156	7	4.5	3.9	3	236	239
陸上貨物運送事業	3	468	471	4	490	494	-23	-4.7	11.4	11	738	749
道路貨物運送	3	439	442	3	462	465	-23	-4.9	10.7	10	696	706
陸上貨物取扱		29	29	1	28	29			0.7	1	42	43
港湾運送業		4	4	1	7	8	-4	-50.0	0.1	1	11	12
林業	3	84	87	3	59	62	25	40.3	2.1	4	98	102
水産業	1	99	100		101	101	-1	-1.0	2.4		173	173
商業	1	578	579	4	601	605	-26	-4.3	14.0	4	926	930
清掃・と畜業		227	227	1	251	252	-25	-9.9	5.5	1	389	390
上記以外の事業	10	1,124	1,134	5	1,092	1,097	37	3.4	27.4	7	1,763	1,770

死亡災害については死亡災害速報、休業災害については労働者死傷病報告書(休業4日以上)による
同期間中に把握した件数の前年同期の対比である。

業種別労働災害発生状況 その2

平成28年1月1日～平成28年9月30日

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	平成28年			平成27年			対前年		業種割合 (%)	平成27年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業	2	61	63	1	71	72	-9	-12.5	1.5	1	117	118
畜産業	3	163	166		137	137	29	21.2	4.0		222	222
金融・広告業		36	36		35	35	1	2.9	0.9		60	60
映画・演劇業					2	2	-2	-100.0			2	2
通信業		80	80		73	73	7	9.6	1.9		117	117
教育・研究業	1	27	28		25	25	3	12.0	0.7		41	41
保健・衛生業	1	348	349		318	318	31	9.7	8.4		548	548
接客・娯楽業		219	219	3	265	268	-49	-18.3	5.3	3	402	405
その他の事業	3	190	193	1	166	167	26	15.6	4.7	3	254	257
合計	10	1,124	1,134	5	1,092	1,097	37	3.4	27.4	7	1,763	1,770

「第三次産業」の内訳

業種別	平成28年			平成27年			対前年		業種割合 (%)	平成27年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	1	578	579	4	601	605	-26	-4.3	14.0	4	926	930
うち小売業	1	472	473	4	489	493	-20	-4.1	11.4	4	763	767
金融・広告業		36	36		35	35	1	2.9	0.9		60	60
映画・演劇業					2	2	-2	-100.0			2	2
通信業		80	80		73	73	7	9.6	1.9		117	117
教育・研究業	1	27	28		25	25	3	12.0	0.7		41	41
保健・衛生業	1	348	349		318	318	31	9.7	8.4		548	548
うち社会福祉施設	1	239	240		210	210	30	14.3	5.8		368	368
うち医療保健業		98	98		101	101	-3	-3.0	2.4		164	164
接客・娯楽業		219	219	3	265	268	-49	-18.3	5.3	3	402	405
うち飲食店		85	85		113	113	-28	-24.8	2.1		178	178
うち旅館業		51	51	3	76	79	-28	-35.4	1.2	3	111	114
うちゴルフ場		43	43		30	30	13	43.3	1.0		45	45
清掃・と畜		227	227	1	251	252	-25	-9.9	5.5	1	389	390
その他の事業	3	190	193	1	166	167	26	15.6	4.7	3	254	257
うち警備業	1	51	52		46	46	6	13.0	1.3		68	68
合計	6	1,705	1,711	9	1,736	1,745	-34	-1.9	41.3	11	2,739	2,750

平成28年における死亡災害発生状況 [速報]

平成28年1月1日～平成28年9月30日

北海道労働局

業種	平成28年		平成27年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	40 (7)	100.0	47 (9)	100.0	-7	-14.9	-5	-13.2
製造業	5 (0)	12.5	3 (0)	6.4	2	66.7	2	66.7
鉱業	1 (0)	2.5	2 (1)	4.3	-1	-50.0	0	0.0
建設業	16 (4)	40.0	21 (3)	44.7	-5	-23.8	-6	-33.3
交通運輸事業	0 (0)	0.0	3 (1)	6.4	-3	-100.0	-2	-100.0
陸上貨物運送事業	3 (2)	7.5	4 (2)	8.5	-1	-25.0	-1	-50.0
港湾運送業	0 (0)	0.0	1 (0)	2.1	-1	-100.0	-1	-100.0
林業	3 (0)	7.5	3 (0)	6.4	0	0.0	0	0.0
その他の事業	12 (1)	30.0	10 (2)	21.3	2	20.0	3	37.5

(注) 1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年については集計期間中の把握件数であり、昨年については集計期間中の発生件数である。

平成28年における死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)

平成28年1月1日～平成28年9月30日

北海道労働局

業 種	平 成 28 年		平 成 27 年 同 期		対 前 年 比 較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	12 (1)	100.0	10 (2)	100.0	2	20.0	3	37.5
小売業	1 (0)	8.3	4 (0)	40.0	-3	-75.0	-3	-75.0
医療保健業	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
社会福祉施設	1 (0)	8.3	0 (0)	0.0	1	—	1	—
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
ビルメンテナンス業	0 (0)	0.0	1 (0)	10.0	-1	-100.0	-1	-100.0
ゴルフ場の事業	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0	—	0	—
警備業	1 (0)	8.3	0 (0)	0.0	1	—	1	—
農業・畜産業	5 (0)	41.7	1 (0)	10.0	4	400.0	4	400.0
水産業	1 (0)	8.3	0 (0)	0.0	1	—	1	—
その他	3 (1)	25.0	4 (2)	40.0	-1	-25.0	0	0.0

(注)1. 本統計は死亡災害報告に基づき、上記期間について集計したものである。

2. 死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

3. 本年については集計期間中の把握件数であり、昨年については集計期間中の発生件数である。

平成28年 死亡災害発生状況

平成28年1月1日～平成28年9月30日

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号		4号		5号		6-2号		7-2号		その他 の事業	合計											
	製造業	うち木材木 製品製造業	鉱山保安法 適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物 運送業	その他の 運輸業	陸上貨物 取扱業	港湾運送業	林業	水産業																
年別																											
平成18年	10	1		1	29	10	5	3		6	5	24	93														
平成19年	8		1		26	14	3	5		5	4	24	90														
平成20年	9	3		1	28	12	2	1		8	1	19	81														
平成21年	3	1			30	6	1	1	1	1	5	21	69														
平成22年	5				22	15	1	3	1	11	9	27	94														
平成23年	4	1		3	10	14	1		1	5	6	21	65														
平成24年	8				27	10	1		1	4	4	28	83														
平成25年	6			1	22	7	2		1	4	4	17	64														
平成26年	4			1	22	6	2			4	6	20	65														
区分 月別	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計	当 月 分	累 計			
平成 27 年	1月						2	2			1	1					1	1			1	1	5	5			
	2月					1	1	2			2	3						1			1	2	4	9			
	3月	2	2				1	3	1	1		3						1			2	4	6	15			
	4月		2				5	8		1		3					1	2				4	6	21			
	5月		2				1	9		1		3			1	1				3	7	5	26				
	6月		2				5	14		1		3	1	1								7	6	32			
	7月		2			1	2	1	15	1	2	3		1							2	9	5	37			
	8月		2				2	4	19		2	3		1							1	10	5	42			
	9月	1	3				2	2	21	1	3	3		1			1	3				10	5	47			
	10月	1	4				2	2	23	2	5	3		1			1	3				10	5	52			
	11月	1	5				2	2	25	2	7	3		1			1	4				10	6	58			
	12月	2	7				2	2	25	3	10	3		1			1	4			2	12	7	65			
平成 28 年	1月	1	1					2	2														3	3			
	2月		1					3	5	1	1											2	2	6	9		
	3月	1	2					5	1	2									2	2			2	4	13		
	4月	1	3					2	7	2	2											2	4	5	18		
	5月	1	4					1	8	1	3								1	3			1	5	23		
	6月		4				1	1	9		3												5	2	25		
	7月	1	5					1	1	10		3										3	6	3	28		
	8月		5					1	2	12		3									3	1	1	4	10	7	35
	9月		5					1	4	16		3									3	1	1	11	5	40	
	10月																										
	11月																										
	12月																										
対前年 同期比	件数	-1	2	±0	±0	±0	±0	±0	-1	2	-5	-1	±0	±0	-3	±0	-1	±0	-1	-1	±0	±0	1	1	1	±0	-7
	百分率	-100.0	66.7	±0	±0	±0	±0	±0	-50.0	100.0	-23.8	-100.0	±0	±0	-100.0	±0	-100.0	±0	-100.0	-100.0	±0	±0	-	-	10.0	±0	-14.9

平成28年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況

平成28年1月1日～平成28年9月30日

北海道労働局

事故の型番号	業種番号		業種										起因物番号										合計																		
	1	2	3	4	5	6-2	7-2	その他	11	12	13	14	15	16	17	21	22	23	31	32	33	34		35	36	37	39	41	51	52	61	71	91	92	99						
事故の型	製業	鉱業	土石採取業	建設業	道路貨物運送業	その他の運輸業	陸上貨物取扱業	港湾運送業	林業	水産業	その他	計	原動機	動力機械	木材加工機械	建設用機械	金属加工用機械	一般動力機械	車両系木材伐出機械等	動力クレーン等	動力運搬機	乗用器	圧力容器	化学装置	溶接装置	炉・窯等	電気設備	入力機械工具等	用器具	その他の装置設備	仮設物・建築物・構築物等	危険物・有害物等	材料	荷等	自然環境等	その他の起因物	起因物なし	分類不能			
1 墜落・転落	1			6							4	11			1													1		8											
2 転倒											1	1									1																				
3 激突																																									
4 飛来・落下																																									
5 崩壊・倒壊	1			3								4																			1			1		2					
6 激突され	1			1	1					2	2	7								2										1			1		3						
7 はさまれ・巻き込まれ	2									1	1	5			1	1	1		1		1																				
8 切れ・こすれ																																									
9 踏抜き																																									
10 おぼれ			1								2	3																										3			
11 高温・低温の物との接触				1								1																										1			
12 有害物との接触				1								1																													
13 感電																																									
14 爆発																																									
15 破裂																																									
16 火災																																									
17 交通事故(道路)				4	2						1	7			1						4	2																			
18 交通事故(その他)																																									
19 動作の反動・無理な動作																																									
90 その他																																									
99 分類不能																																									
合計	5		1	16	3					3	1	11			3	1	1		3	6	3							1		10	1		2		9						

平成28年 署別・業種別死亡災害発生状況

平成28年1月1日～平成28年9月30日

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	その他 の事業	合計
	製造業	うち木材木 製品製造業	鉱山保安法 適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物 運送業	その他の 運輸業	陸上貨物 取扱業	港湾運送業	林業	水産業		
署別													
札幌中央	1			1	1							1	4
札幌東	1				1								2
函館													
小樽					1							1	2
岩見沢												1	1
旭川	1				2	1						2	6
帯広	1				3							2	6
滝川						1						1	2
北見										2	1	1	4
室蘭					1							1	2
釧路					2	1							3
名寄					1								1
留萌					1								1
稚内					1								1
浦河												1	1
苫小牧	1				1					1			3
倶知安					1								1
計	5			1	16	3				3	1	11	40

署別・業種別災害発生状況

平成28年1月1日～平成28年9月30日

北海道労働局

業種別 署別	全産業合計	製 造 業						鉱 業		建 設 業				交 通 運 輸 事 業	陸上貨物運送事業			港 湾 運 送 業	林 業	水 産 業	商 業		社 会 福 祉 施 設	飲 食 店	清 掃 ・ と 蓄 業	左 記 以 外 の 事 業	対 前 年 比 増 減 率			
		計	食 料 品 製 造 業	木 材 ・ 家 具	紙 ・ 印 刷	窯 業 土 石 製 品	金 属 ・ 機 械	そ の 他 製 造 業	鉱 山	土 石 採 取 業	計	土 木 工 事 業	建 築 工 事 業		木 造 建 築 業	そ の 他 建 設 業	計				道 路 貨 物 運 送 業	陸 上 貨 物 取 扱 業						計	小 売 業	そ の 他 商 業
札幌中央	665	67	29	6	1	2	16	13		1	88	20	40	10	18	51	69	61	8				124	106	18	42	24	65	134	6.0%
	705	92	42	4	3		22	21		2	79	20	37	6	16	43	74	69	5				136	115	21	58	29	58	134	
札幌東	881	135	70	3	4	1	30	27			118	34	70	3	11	53	161	145	16				173	131	42	44	35	47	115	-10.7%
	787	141	75	6	6	2	29	23			100	19	51	10	20	51	130	116	14		3			143	117	26	41	18	37	
函館	304	89	60	7		3	12	7		2	43	22	13	5	3	12	34	33	1		6	13	33	29	4	16	5	22	29	-1.6%
	299	75	52	3	1	1	12	6			42	12	16	7	7	12	23	22	1		9	15	42	35	7	17	3	17	44	
小樽	119	35	20	3	3		2	7			14	5	5	3	1	3	11	11			1		13	13		5	1	8	28	4.2%
	124	37	24	6			1	2	4		11	7	4			6	11	10	1		1	2	18	16	2	8		7	23	
岩見沢	133	39	12				5	13	9		21	7	9	3	2	2	13	13					13	12	1	7	3	8	24	-6.8%
	124	19	7	1			3	4	4	1	18	11	4	2	1	2	17	17					12	10	2	10	2	9	34	
旭川	291	51	19	11	4		10	7		1	52	12	16	13	11	8	32	32			4		43	36	7	14	8	20	58	7.9%
	314	65	20	15	1	4	12	13			44	7	15	9	13	13	44	42	2		7		49	38	11	19	5	20	48	
帯広	316	67	48	5	1	1	3	9		5	35	8	17	6	4	6	39	39			17	2	40	28	12	11	4	14	76	4.1%
	329	70	45	9			1	11	4	2	46	10	18	15	3	4	40	40			16		43	34	9	12	2	12	82	
滝川	117	24	11	3	2	2	5	1		2	26	12	11	3		2	8	8			2	1	13	10	3	9	3	9	18	-9.4%
	106	20	4	2	5	2	3	4		1	25	10	6	7	2	3	7	6	1		2	1	16	13	3	5	2	4	20	
北見	205	41	20	13			4	2	2		33	9	19	3	2	2	16	16			4	18	28	28		10	8	12	33	8.3%
	222	48	26	13			2	4	3		39	12	14	11	2	2	18	18			21	13	24	17	7	9	2	7	38	
室蘭	128	26	10				2	10	4		22	6	10	4	2		10	9	1			2	21	15	6	10	2	8	25	-4.7%
	122	20	9	1			2	4	4		20	7	10	1	2	2	9	9			1	1	20	16	4	12	3	10	24	
釧路	353	82	52	6	1		11	12		2	64	28	32	2	2	7	34	34		2	6	38	32	27	5	15	5	17	49	-16.1%
	296	85	52	4	1		12	16			37	12	14	8	3	6	34	32	2	2	7	36	20	18	2	14	2	12	41	
名寄	92	28	16	4			1	4	3		20	7	6	4	3	2	4	4			4	3	7	6	1	5	1	2	16	-9.8%
	83	19	7	5	1	2	1	3		1	21	8	5	8		2	2	2			3	2	5	5		3	2	3	20	
留萌	55	3	3								15	5	6	3	1		8	8			2	5	7	5	2	2			11	-36.4%
	35	9	8							1	8	3		2	3		1	1					12	1	1			2	1	
稚内	62	11	9						2		14	8	2	4			5	5			2	9	4	4		2		4	11	14.5%
	71	15	14	1							13	5	3	3	2	1	3	3			5	10	6	4	2	5		4	9	
浦河	105	6	1	4			1			1	11	4	4	2	1		1	1			4	8	9	8	1	1	1	1	62	19.0%
	125	8	6	1							10	7	1	1	1	2	3	3			5	6	4	3	1	6			81	
苫小牧	306	61	21	8	5	2	11	14		3	31	10	12	2	7	8	47	44	3	5	4	2	39	31	8	17	10	13	66	6.2%
	325	68	21	5	7	6	14	15			38	15	11		12	10	50	47	3	2	2	1	36	29	7	17	11	21	69	
倶知安	62	10	8		1	1					18	6	9	2	1		2	2			4		6	4	2		1	2	19	24.2%
	77	10	7	1			1	1		1	17	3	6	4	4	4	5	5			5	1	4	2	2	4	4	4	18	
合計	4,194	775	409	73	22	25	129	117		19	625	203	281	72	69	156	494	465	29	8	62	101	605	493	112	210	113	252	774	-1.2%
	4,144	801	419	77	25	26	131	123	1	9	568	168	215	94	91	163	471	442	29	4	87	100	579	473	106	240	85	227	809	
対前年比増減率	-1.2%	3.4%	2.4%	5.5%	13.6%	4.0%	1.6%	5.1%		-52.6%	-9.1%	-17.2%	-23.5%	30.6%	31.9%	4.5%	-4.7%	-4.9%		-50.0%	40.3%	-1.0%	-4.3%	-4.1%	-5.4%	14.3%	-24.8%	-9.9%	4.5%	

(注) 本統計は死傷病報告による死傷件数である。上段は前年、下段は当年である。

平成28年 製造業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	1	11時台	パルプ・紙・紙加工品製造業	50人以上99人	崩壊・倒壊	荷	被災者は、古紙保管ヤード内で古紙ペール(古紙を圧縮した直方体で番線結束したもの。)のはい崩しに従事していたが、古紙2個がフォークリフトにより抜き取られ、その後にパレットの片づけ作業で被災者が古紙に近づいた時、11個の古紙が崩壊しその下敷きになったもの。
28	3	11時台	一般機械器具製造業	50人以上99人	激突され	動力クレーン等	被災者は、長さ約8m、幅約20cm、重量約600kgの鉄骨部材の下に垂木を配置するため鉄骨部材の近くで待機していたが、別の作業者が天井クレーンで鉄骨部材をつり上げようと地切りした際、鉄骨部材が横にずれて隣に置いてあった同形状の鉄骨部材に激突し、激突された鉄骨部材が被災者側へ倒れて下敷きとなったもの。
28	4	8時台	パルプ・紙・紙加工品製造業	100人以上299人	はさまれ・巻き込	一般動力機械	被災者は、製紙工場において、抄造中に断紙したため、復旧のため湿紙を取り除く作業を行ったところ、抄造マシンの回転していたロール機の間挟まれたもの。
28	5	15時台	食料品製造業	50人以上99人	墜落・転落	動力運搬機	被災者は、敷地内の作業道(幅員4.7m)をフォークリフトで後進走行中、路肩から逸脱し、高さ1.8m下の沢へフォークリフトと共に転落し、車体の下敷きとなったもの。
28	7	15時台	金属製品製造業	30人以上49人	はさまれ・巻き込	金属加工用機械	被災者は、普通旋盤を使用して機械器具の部品製造作業において、チャック側の端部の溝切削加工部のバリ取りのため、金属板に取り付けたサンドペーパーを押し当てて研磨作業をしていたところ、身体が巻き込まれたもの。

平成28年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	1	13時台	土木工事業	10人以上29人	崩壊・倒壊	環境等	被災者は、斜面下方において斜面に堆積させていた土砂をドラグショベルを使用してダンプに積み込む作業を行ってところ、斜面の土砂が突然崩れ、ドラグショベルが横倒しとなって土砂に埋まり、約2時間半後に救出されたが死亡したものの。
28	1	12時台	建築工事業	10人以上29人	有害物等との接触	危険物・有害物等	マンション新築工事において、廊下のコンクリート壁及び天井に玉吹き塗装を行っていた被災者ら2名が倒れているのを、別の工事業者が発見したものの。窓、戸等の開口部は塗装養生シートで密閉されており、玉吹き塗装にガソリンエンジン式のコンプレッサーを使用していた。被災者とともに発見された1名については調査中。
28	2	13時台	その他の建設業	10人未満	墜落・転落	仮設物・構築物等	被災者を含む総勢12名により、屋根上で軒先の雪を屋根下に落としていたところ、屋根上の雪が全て屋根を滑り落ち、12名全員が落雪に巻き込まれ、生き埋めとなったものの。
28	2	13時台	その他の建設業	10人以上29人	墜落・転落	仮設物・構築物等	被災者を含む総勢12名により、屋根上で軒先の雪を屋根下に落としていたところ、屋根上の雪が全て屋根を滑り落ち、12名全員が落雪に巻き込まれ、生き埋めとなったものの。
28	2	12時台	その他の建設業	10人以上29人	交通事故（道路）	建設用等機械	電柱建替工事現場に行くため、事業場から高所作業車を運転し、国道（片側1車線）を走行していたところ、吹雪のため減速運転していた大型トラックに追突したものの。
28	4	15時台	土木工事業	10人以上29人	交通事故（道路）	乗物	被災者は、水道工事現場の道路上において、ランマーを使用して地盤を締め固めしていたところ、通行止めの看板及びバリケードを突破してきた乗用車に激突され、停車していた4トンダンプカーと当該乗用車との間に挟まれたものの。
28	4	7時台	木造建築工事業	30人以上49人	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、会社から工事現場に向かうため4トンダンプを運転し道道を走行中、緩い右カーブにおいて道路左側の路外にはみだし横転し、頭を強く打ったものの。現場は片側一車線で、事故当時路面は乾燥していた。

平成28年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	5	16時台	建築工事業	10人以上29人	崩壊・倒壊	仮設物 構築物等	木造2階建ての牛舎解体工事において、解体用つかみ機を用いて1階部分の壁(コンクリートブロック積み)を倒そうとしていたところ、何らかの原因により当該壁が倒れ、退避していなかった被災者が当該壁の下敷きとなったもの。
28	6	14時台	木造建築工事業	10人未満	墜落・転落	仮設物 構築物等	被災者は、木造2階建ての集合住宅の建築工事現場において、高さ6.8mの屋根上で野地板を張る作業を終えて、屋根から外部足場に移動中に墜落したものの。
28	7	1時台	土木工事業	50人以上99人	交通事故(道路)	乗物	被災者は、道路維持作業において車道の外側線付近で歩車道境界縁石の草取り作業を行っていたところ、走行してきた乗用車に轢かれたもの。
28	8	11時台	その他の建設業	10人未満	高温・低温の物との接触	環境等	被災者は、基礎型枠の解体作業において単管等の資材の受け渡し等の作業中、体調が悪くなってうずまり、その場に倒れこんだ。救急車により病院へ搬送されたが、その後死亡が確認されたもの。被災時の状況等から熱中症によるものと推定される。
28	8	11時台	建築工事業	10人以上29人	墜落・転落	仮設物 構築物等	被災者は、枠組足場を先行して組み立てる作業において、同僚と2人で4段目の組立作業中、足場外側の面に筋交いを取り付ける作業を行っていたところ、足場が倒れ同僚とともに墜落したものの。
28	9	19時台	土木工事業	10人以上29人	崩壊・倒壊	環境等	被災者は、台風による大雨の影響で小規模な土砂崩れが発生した国道付近において、大雨が降り続く中、歩道に停車させた車両内から斜面の状況を監視していたところ、土砂崩れが発生して車両ごと土砂に押し流されて海に転落したものの。
28	9	13時台	土木工事業	30人以上49人	墜落・転落	建設用等機械	被災者は、タイヤショベルを運転して盛土した作業用通路(幅員約5.5m、高さ約1m)を後進していたところ、左後輪が路肩から逸脱して転落し、タイヤショベルの運転席フレーム部分の下敷きになったもの。

平成28年 建設業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	9	13時台	土木工事業	10人以上29人	激突され	動力クレーン等	被災者は、浮きクレーンのジブを定位置に置くため、同僚と船上でフックを横置きする作業を行っていたところ、ジブに沿って格納していた補巻フック用ワイヤーが、浮きクレーンのジブを下げた際に緊張したことにより、補巻フック用ワイヤーを固定したクレーン上部回転体下部の取付金具が破断し、外れた補巻フック用ワイヤーが約30メートル先のフック付近にいた被災者に激突したものの。
28	9	9時台	建築工事業	10人未満	墜落・転落	仮設構築物、建築物等	被災者は、学校のプールの屋根に取り付けられているビニールテントをはがす作業において、ビニールテントをはがした後に親綱を取り外す作業に取り掛かろうとしたところ、鉄骨梁(高さ約3.6m)からコンクリートのたたきに墜落したものの。

平成28年 陸上貨物運送事業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	2	7時台	道路貨物運送業	10人未満	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、雪の排雪作業を行うためダンプトラック3台で片側1車線の国道を走行中、先頭を走行していた被災者のダンプトラックが右カーブに差し掛かった時、路肩に立っていた電柱に激突して横転したもの。路面は乾燥していた。
28	3	10時台	道路貨物運送業	30人以上 49人	激突され	仮設構造物、建築物等	被災者は、事業場の交通安全旗の金属製ポールが古くなって錆びていたため撤去作業中、トラクターショベルのバケットに乗り、高さ約6mの位置に繊維ベルトを掛けて地上に降りた後、被災者が繊維ベルトを引っ張ったところポールが倒れ、被災者の頭部に当たったもの。
28	5	4時台	道路貨物運送業	30人以上 49人	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者がトラックを運転して国道を走行中、被災者のトラックが中央線を越えて対向車線にはみ出し、対向車線を走行していたトラックと正面衝突したもの。

平成28年 林業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	3	11時台	林業	10人未満	激突され	環境等	被災者は、皆伐作業現場で単独にてチェーンソーを用いて伐倒作業をしていたが、被災者が休憩時間になっても土場に戻らなかったため同僚が様子を見に行ったところ、木の下敷きとなっている被災者を発見した。被災者が下敷きとなった伐倒木は、胸高直径43センチメートル、高さ31メートルのカラマツであった。
28	3	13時台	林業	10人未満	はさまれ・巻き込	建設用等機械	被災者と同僚2名がブルドーザーの運転席以外の場所に乗車し、土場から作業現場まで移動した後、作業現場に到着した当該ブルドーザーが帰路に向けて方向転換するために旋回し後退した時、ブルドーザー後部(ウインチ部)に乗車していた被災者が、後退中のブルドーザーに轢かれたもの。
28	5	10時台	林業	10人未満	激突され	環境等	風倒木除去処理の林業現場において、被災者が風倒木(トドマツ・樹高24.16m)の下敷きになっているのを発見した。被災者の倒れていた場所近くには伐根(トドマツ)があり、その伐倒先には当該伐根から切り離された伐倒木(長さ25.38m)があった。

平成28年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	2	9時台	農業	10人未満	墜落・転落	仮設物、構築物、建築物等	被災者は、同僚と2名でD型倉庫屋根に上り除雪作業をしていたところ、屋根板を踏み抜き、倉庫内に約5.7メートル墜落したものの。
28	2	5時台	その他の事業	100人以上299人	墜落・転落	仮設物、構築物、建築物等	被災者は、ビルの守衛業務を朝9時から24時間行う予定であったが、翌朝、出社してきた同僚が踊り場に倒れている被災者を発見したものの。階段を踏み外して踊り場に転落し、壁に頭を打ち付けたものと推定される。
28	4	7時台	畜産業	10人未満	激突され	荷	被災者は、他の労働者と車両系建設機械のバケットを小型移動式クレーンを用いてトラックの荷台へ積込む作業中、他の労働者が小型移動式クレーンを運転して地切りした際、バケットの重心が移動してバケットが回転したため、バケット付近にいた被災者の足下がすくわれると同時にバケットからフックが外れ、バケットとともに被災者が用水路へ転落し、用水路の法面と当該バケットの間に挟まれたものの。
28	4	8時台	小売業	30人以上49人	はさまれ・巻き込	動力クレーン等	被災者は、1階から2階に上昇していたエレベーターが途中で停止したため、エレベーターの動力を切り、2階の昇降路の扉を開け、上半身だけ搬器に入り、停止した原因である積み荷の引っ掛かりを取り外していたところ、搬器が落下したため、搬器の天井と2階の床先との間に挟まれたものの。
28	5	17時台	その他の事業	10人以上29人	おぼれ	環境等	被災者は、一般廃棄物処理場で、事業場と電話で話をしたのを最後に行方不明となり、翌々日に捜索した結果、処理場内の調整池(水深約1.8m)に沈んでいるのが発見されたもの。死因は水死と判定された。
28	6	15時台	土石採取業	10人未満	おぼれ	環境等	被災者は、事業場の砂利採取場において砂の採取業務に従事中、砂を掘削した箇所に溜まった湧水(水深2.65m)に転落し溺死したもの。被災者は、湧水が溜まった箇所から離れた位置で、ドラグ・ショベルでダンプトラックへ砂の積み込み作業を行っていたが、姿が見えなくなったことから水中を捜索したところ発見された。
28	7	10時台	畜産業	10人以上29人	転倒	動力運搬機	被災者は、農業用トラクターにより牧草ロール1個(重量約450kg)を運搬するため、農業用トラクターを運転して農道を下っていたところ、農道から逸走して横転し、運転席から投げ出された状態で同僚に発見されたもの。

平成28年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	8	13時台	社会福祉施設	10人以上 29人	おぼれ	環境等	被災者は、施設入居者の川遊び行事のため遠浅の川岸で児童らと昼食中、川岸に置いていたビニール製の子供用ボートが川に流されたため、咄嗟に川に入りボートを追い掛けたところ、深みにはまり溺れたもの。
28	8	1時台	その他の事業	100人以上 299人	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、河川の水量調査を実施後、同僚2名と社用車（ピックアップトラック）に乗車して移動中、台風による増水により崩落していた橋の橋台付近から車ごと川に転落したもの。同僚2名は自力で脱出したが、運転していた被災者が行方不明となり、その後の捜索の結果、転落場所から数百メートル下流において遺体で発見された。
28	8	7時台	水産業	10人以上 29人	はさまれ・巻き込まれ	乗物	被災者は、漁船で定置網を海中に戻す作業中、甲板上で定置網に取り付けられたロープを結んでいたところ、漁船が後進してロープによって甲板上を引きずられ、ロープと船上の柱（たち）に挟まれたもの。
28	8	12時台	教育・研究業	10人以上 29人	墜落・転落	仮設構築物、建築物等	被災者は、車庫に併設されている倉庫の屋根の一部が剥がれていたため、同僚と2名で屋根の状況を確認するため、屋根に上がり剥がれている箇所に向けて歩いていたら、スレートを踏み抜き3.7メートル下の床に墜落し、頭部を強く打ちつけたもの。
28	9	7時台	畜産業	10人以上 29人	激突され	環境等	被災者は、放牧地から馬を集牧するため、同僚3人とそれぞれ2頭の馬を引き連れ厩舎に向かって縦に並び歩いていたところ、被災者の後方を歩いていた馬4頭が急に何かに驚いて前に走り出し、集団で被災者に突っ込んだことにより馬に頭を踏みつけられたもの。
28	8	8時台	農業	10人未満	墜落・転落	用具	被災者は、個人住宅の庭木の伐採作業において、庭木に立て掛けたアルミ製のはしごの上でチェーンソーで枝払いを行った後にはしごから降りようとしたところ、高さ約2メートルの箇所から地面（砂利）に墜落したもの。

前月把握分

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
28	8	1時台	その他の事業	100人以上 299人	交通事故（道路）	動力運搬機	被災者は、河川の水量調査を実施後、同僚2名と社用車（ピックアップトラック）に乗車して移動中、台風による増水により崩落していた橋の橋台付近から車ごと川に転落した。同僚2名は自力で脱出したが、運転していた被災者が行方不明となり、その後の捜索の結果、転落場所から数百メートル下流において遺体で発見された。
28	8	7時台	水産業	10人以上 29人	はさまれ・巻き込まれ	乗物	被災者は、漁船で定置網を海中に戻す作業中、甲板上で定置網に取り付けられたロープを結んでいたところ、漁船が後進してロープによって甲板上を引きずられ、ロープと船上の柱（たち）に挟まれたもの。
28	8	12時台	教育・研究業	10人以上 29人	墜落・転落	仮設物、構築物、建築物等	被災者は、車庫に併設されている倉庫の屋根の一部が剥がれていたため、同僚と2名で屋根の状況を確認するため、屋根に上がり剥がれている箇所に向けて歩いていたところ、スレートを踏み抜き3.7メートル下の床に墜落し、頭部を強く打ちつけたもの。
28	8	11時台	建築工事業	10人以上 29人	墜落・転落	仮設物、構築物、建築物等	被災者は、枠組足場を先行して組み立てる作業において、同僚と2人で4段目の組立作業中、足場外側の面に筋交いを取り付ける作業を行っていたところ、足場が倒れ同僚とともに墜落したもの。
28	9	7時台	畜産業	10人以上 29人	激突され	環境等	被災者は、放牧地から馬を集牧するため、同僚3人とそれぞれ2頭の馬を引き連れ厩舎に向かって縦に並び歩いていたところ、被災者の後方を歩いていた馬4頭が急に何かに驚いて前に走り出し、集団で被災者に突っ込んだことにより馬に頭を踏みつけられたもの。
28	9	19時台	土木工事業	10人以上 29人	崩壊・倒壊	環境等	被災者は、台風による大雨の影響で小規模な土砂崩れが発生した国道付近において、大雨が降り続く中、歩道に停車させた車両内から斜面の状況を監視していたところ、土砂崩れが発生して車両ごと土砂に押し流されて海に転落したもの。
28	8	8時台	農業	10人未満	墜落・転落	用具	被災者は、個人住宅の庭木の伐採作業において、庭木に立て掛けたアルミ製のはしごの上でチェーンソーで枝払いを行った後にはしごから降りようとしたところ、高さ約2メートルの箇所から地面（砂利）に墜落したもの。

前月把握分

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
28	9	13時台	土木工事業	30人以上 49人	墜落・転落	建設用等機械	被災者は、タイヤショベルを運転して盛土した作業用通路(幅員約5.5m、高さ約1m)を後進していたところ、左後輪が路肩から逸脱して転落し、タイヤショベルの運転席フレーム部分の下敷きになったもの。
28	9	13時台	土木工事業	10人以上 29人	激突され	動力クレーン等	被災者は、浮きクレーンのジブを定位置に置くため、同僚と船上でフックを横置きする作業を行っていたところ、ジブに沿って格納していた補巻フック用ワイヤーが、浮きクレーンのジブを下げた際に緊張したことにより、補巻フック用ワイヤーを固定していたクレーン上部旋回体下部の取付金具が破断し、外れた補巻フック用ワイヤーが約30メートル先のフック付近にいた被災者に激突したものの。
28	9	9時台	建築工事業	10人未満	墜落・転落	仮設構造物、建築物等	被災者は、学校のプールの屋根に取り付けられているビニールテントをはがす作業において、ビニールテントをはがした後に親綱を取り外す作業に取り掛かろうとしたところ、鉄骨梁(高さ約3.6m)からコンクリートのたたきに墜落したものの。